Panasonic

取扱説明書

住宅用照明器具（LED Architectural Light）

保管用

施工説明付き

品番　LGB50100LE1（LED12個）　LGB50101LE1（LED36個）

お客様へ　このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（１～２ページ）を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、工事店、電器店に依頼してください。

工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意　（必ずお守りください）

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る

必ず守る

異常が収まったことを確認し、販売店または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

■器具を改造したり部品交換をしない

分解禁止

火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■布や紙など燃えやすいものをかぶせない

禁止

火災の原因となることがあります。

⚠注意

■照明器具には寿命があります。設置して１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

必ず守る

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
●１年に１回は別紙「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

■LEDを直視しない

禁止

目の痛みの原因となることがあります

■本体の取り外しは工事店、電器店に依頼する

必ず守る

本体の取り外しには資格が必要です。

■お手入れの際は、電源を切る

必ず守る

通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

■温度の高くなるものを置かない

禁止

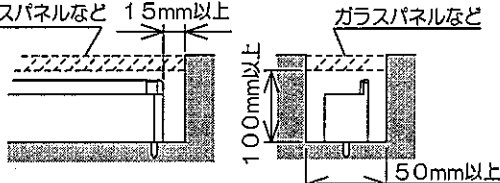
器具の近くに温度の高くなるものを置かないでください。火災の原因となることがあります。

工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。

施工説明

安全上のご注意

⚠警告

■ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う

必ず守る　取り付けに不備があると、
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

■ 指定以外の場所に取り付けない

禁止
・不安定な場所
・補強のない薄い場所（ベニヤ板や石膏ボードなど）
火災、落下によるけがのおそれがあります。

■ 密閉空間に収納する場合、下図のスペースを確保する

必ず守る　火災のおそれがあります。

■ 交流100ボルトで使用する

必ず守る　過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

■ 電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む

必ず守る　差し込みが不完全な場合、火災・感電のおそれがあります

■ メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの木造の造営材に器具を取り付ける場合は、器具の金属部と絶縁をとる

必ず守る　木ネジ、器具の取付板等とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けてください。
守らないと、漏電した場合、火災のおそれがあります

⚠注意

■ 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

水ぬれ禁止　火災、感電の原因となることがあります。
●この器具は非防水です。

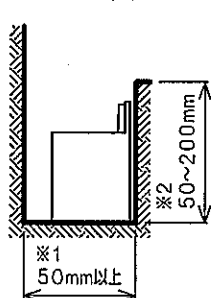
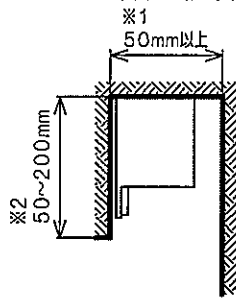
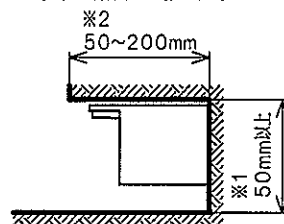
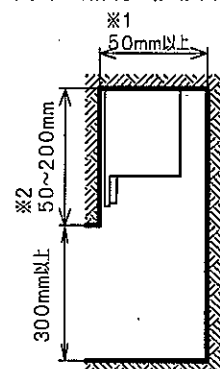
■ 温度の高くなるものの上に取り付けない

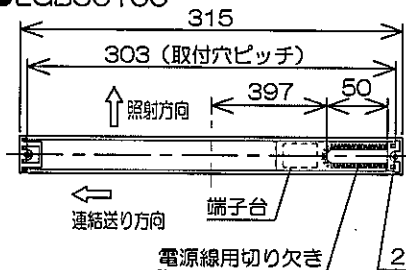
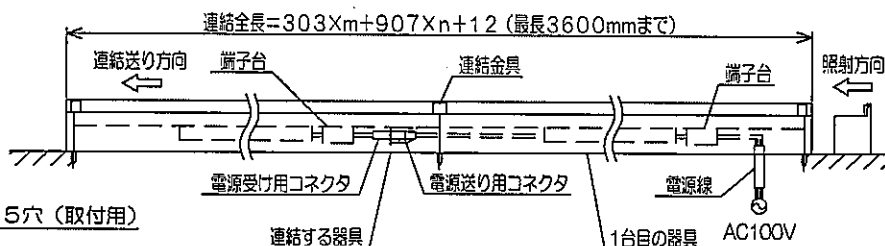
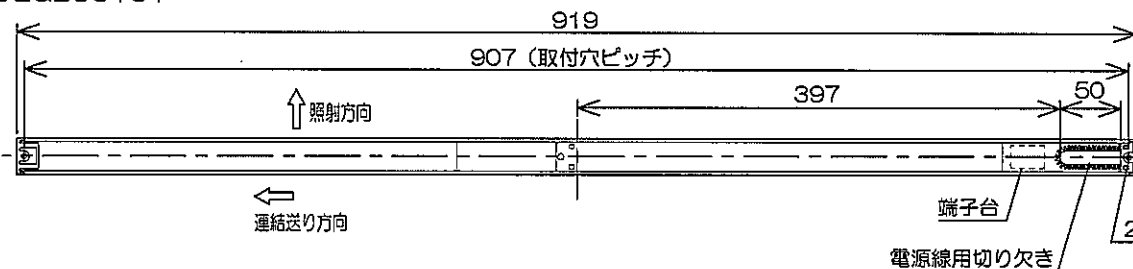
禁止　レンジなど温度の高くなるものの上に器具を取り付けないでください。
火災の原因となることがあります。

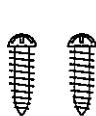
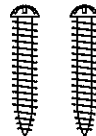
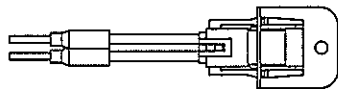
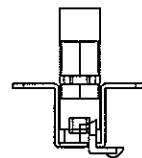
■ 調光器と組み合わせて使用しない

禁止　調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると火災の原因となることがあります。
・調光器の取り外しが必要です。

施工前のご注意

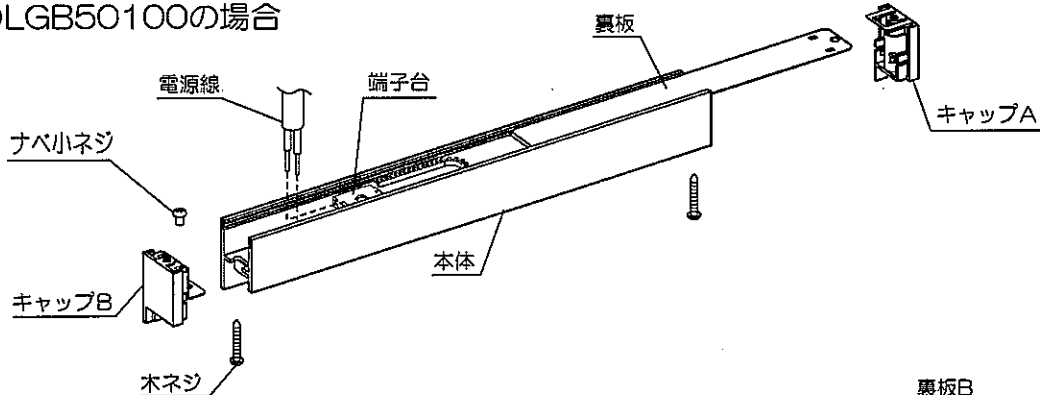
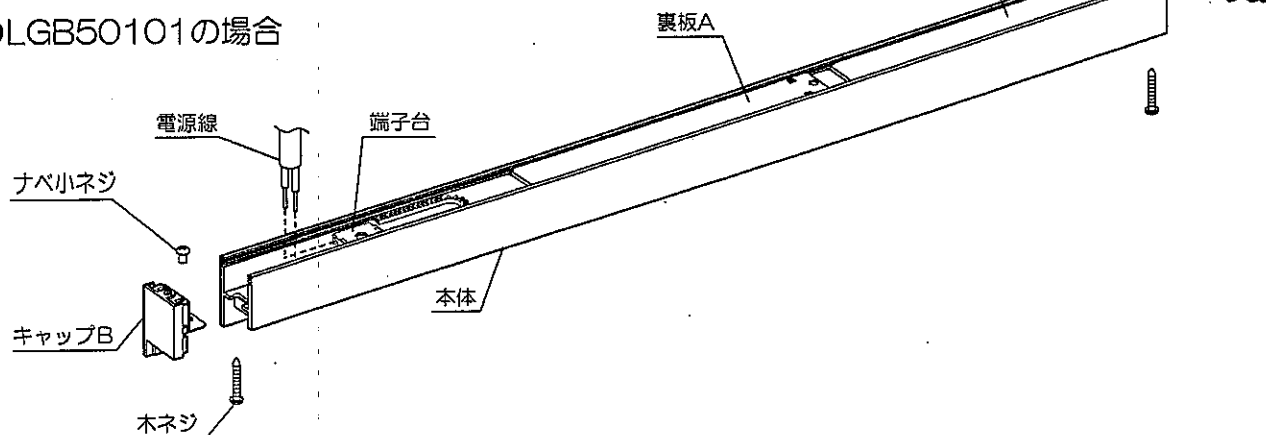
●ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につきスイッチ1個でご使用ください。
（2個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります）
●取付面が平面でない場合、器具と取付面の間、及び連結部にすき間が発生するおそれがあります。
●取付部の寸法は下図をご参照ください。

■造作や家具に据置き　■コーニス照明（天井付）

■家具下照明（壁付）

■家具下照明（天井付）

●ただし、※1が100mm未満の場合は、※2を100mm以下に設定してください。

器具取付寸法図

各部のなまえ

付属品

木ネジ25mm（2本）（棚下取付時に使用）	木ネジ50mm（2本）（棚下取付以外で使用）	連結用部品：電源受け用コネクタ	連結金具	ナベ小ネジ（2本）

●LGB50100の場合

裏板
電源線
端子台
キャップA
ナベ小ネジ
本体
キャップB
木ネジ

●LGB50101の場合

キャップA
裏板B
裏板A
電源線
端子台
ナベ小ネジ
本体
キャップB
木ネジ

器具を連結しない場合の取り付けかた

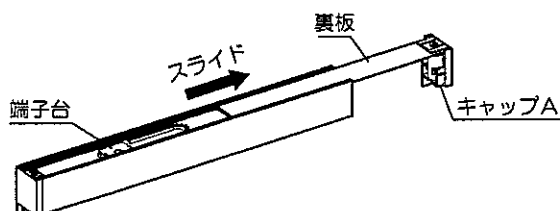
安全のため、電源を切ってから行ってください。

●器具を連結して取り付ける場合は ☞5ページ「器具を連結して取り付ける」を参照してください。

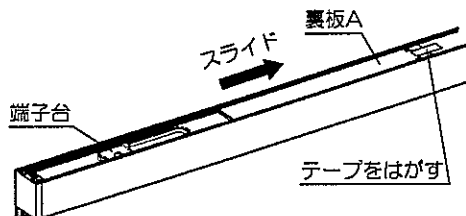
1

●LGB50100の場合

端子台が見えるまで

裏板とキャップAをスライドさせる

●LGB50101の場合

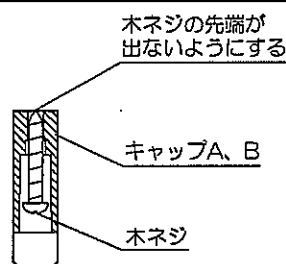
テープをはがし

端子台が見える状態にする

2 キャップA、Bに木ネジ（2本）を仮装着する

●キャップから木ネジの先端が出ないようにしてください

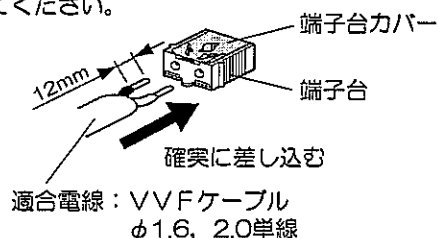
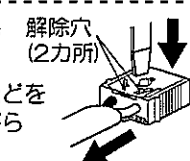
●以下のように木ネジの長さを選定する。

・棚下取付時　：25mm

・棚下取付以外：50mm

3

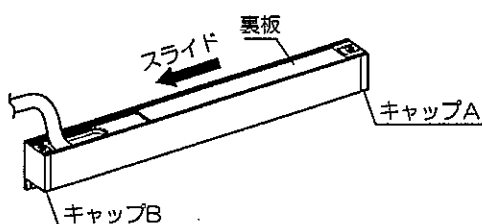
端子台に

電源線を接続する

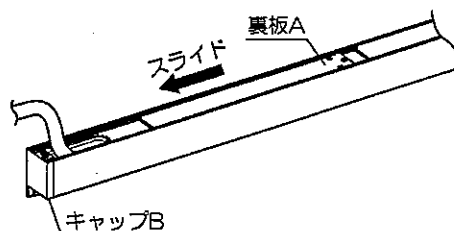
端子台カバーは、取り外さないでください。
電源線を外すために取り外した場合は、取り付け直してください。

器具の取り替えなどで電源線を外す場合は、マイナスドライバーなどを解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

4

●LGB50100の場合

キャップBに当たるまで

裏板とキャップAをスライドさせる

●LGB50101の場合

キャップBに当たるまで

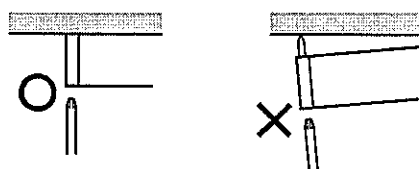
裏板Aをスライドさせる

5

木ネジ（2本）で

本体を取り付ける

●取付面が平面でない場合、器具と取付面の間にすき間が発生するおそれがあります。

●本体を取付面に押し当てながら木ネジを締め付ける。
押し当てないと本体とキャップにすき間が生じる、又は、キャップ破損の原因となります。

⚠注意

取付は確実に行う

取付が不完全な場合
落下によるけがの原因となることがあります。

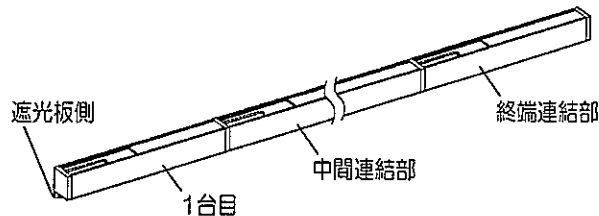
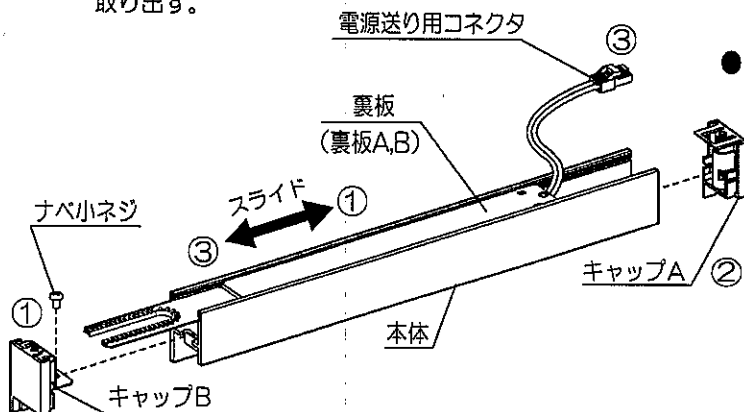
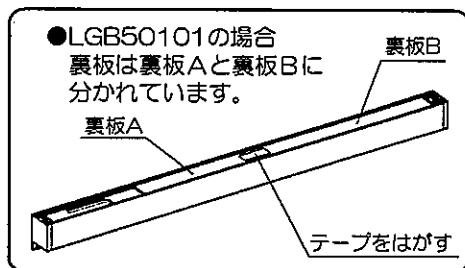
器具を連結して取り付ける

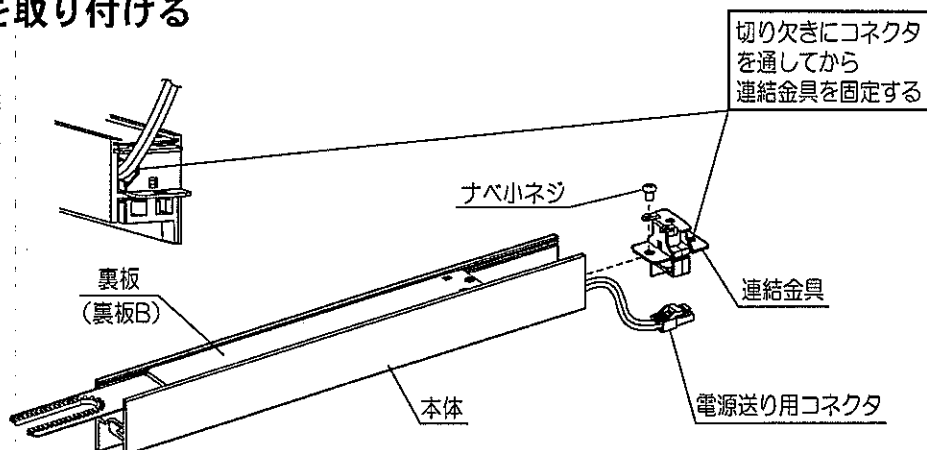
安全のため、電源を切ってから行ってください。

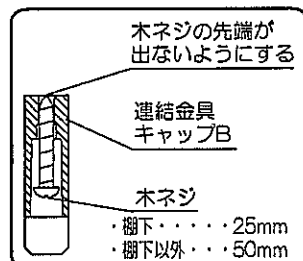
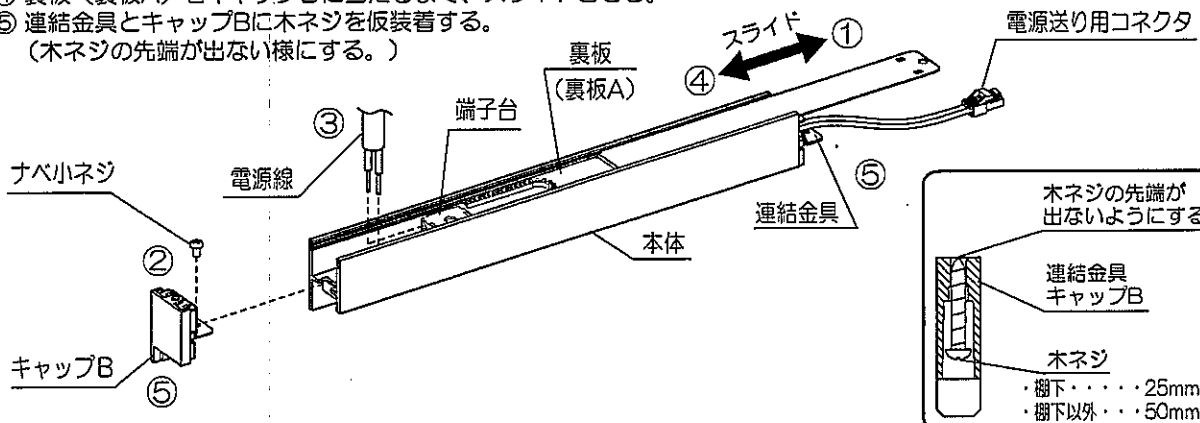
●連結全長は最長3600mmまでです。

1台目の取り付け

1 電源送り用コネクタを取り出す

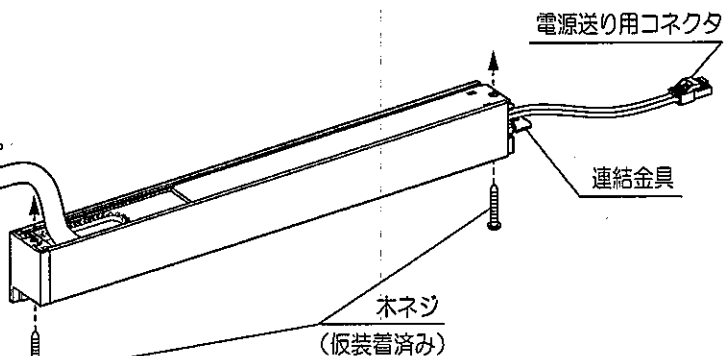
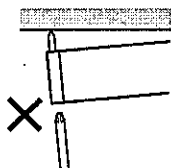
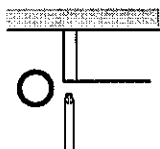
① 裏板（裏板A）をスライドさせ、ナベ小ネジを取り外し、キャップBを取り外す。
（LGB50101で1台目の場合はキャップBは外さない。）
② キャップAを取り外す。
③ 裏板（裏板B）をスライドさせ、電源送り用コネクタを取り出す。

●1台目→中間連結部→終端連結部の順に連結していく

2 電源送り用コネクタを切り欠きに通しながら、付属のナベ小ネジで本体に連結金具を取り付ける

> **⚠注意**
>
> **取付は確実に行う**
>
> 取付が不完全な場合落下によるけがの原因となることがあります。

3 電源線を接続する

① 裏板（裏板A）を端子台が見えるまで、スライドさせる。
② キャップBを、本体にナベ小ネジで取り付ける。
③ 電源線を端子台に接続する。（接続方法は ☞4ページ「器具を連結しない場合の取り付けかた」手順 **3** 参照）
④ 裏板（裏板A）をキャップBに当たるまで、スライドさせる。
⑤ 連結金具とキャップBに木ネジを仮装着する。
（木ネジの先端が出ない様にする。）

4 仮装着した木ネジ（2本）で 本体を取り付ける

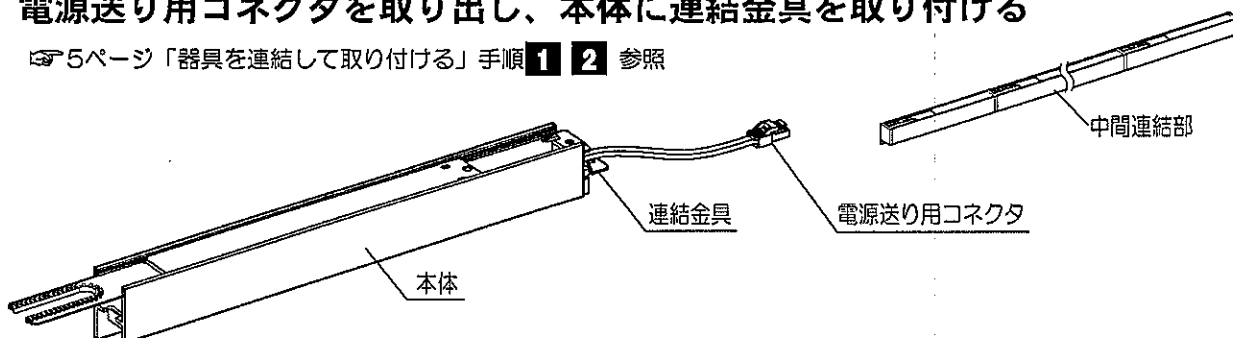
仮締め状態にしておく。

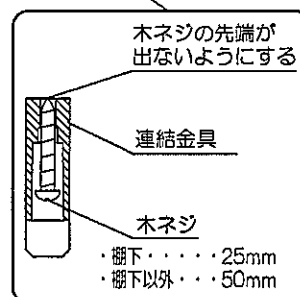
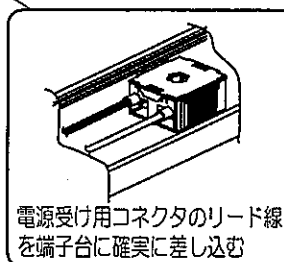
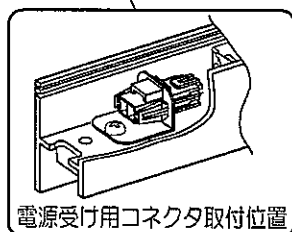
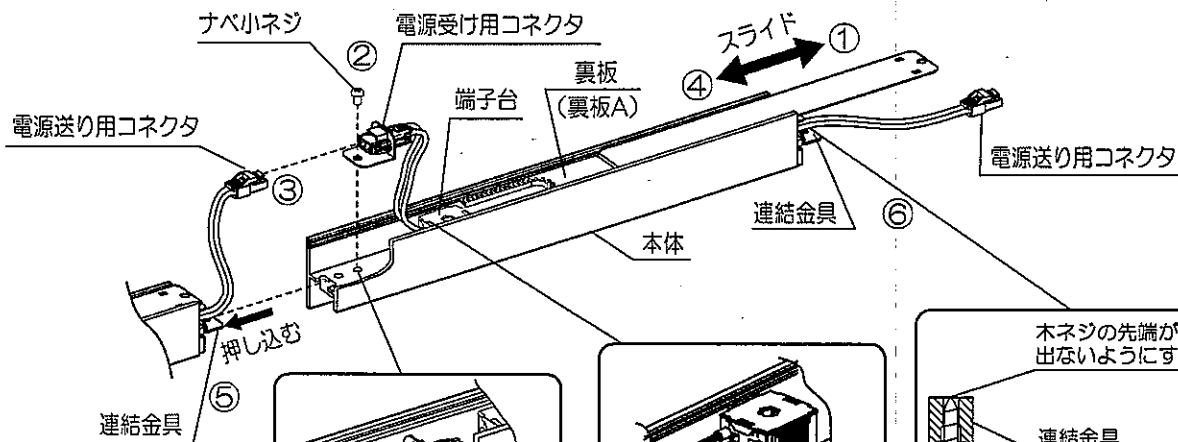
●取付面が平面でない場合、器具と取付面の間にすき間が発生するおそれがあります。

●本体を取付面に押し当てながら木ネジを締め付ける。押し当てないと本体とキャップにすき間が生じる、又は、キャップ破損の原因となります。

2台連結の場合 ☞ 7ページ「終端連結部の接続」8 へ進む
3台以上連結の場合 ☞ 6ページ「中間連結部の接続」5 へ進む

中間連結部の接続

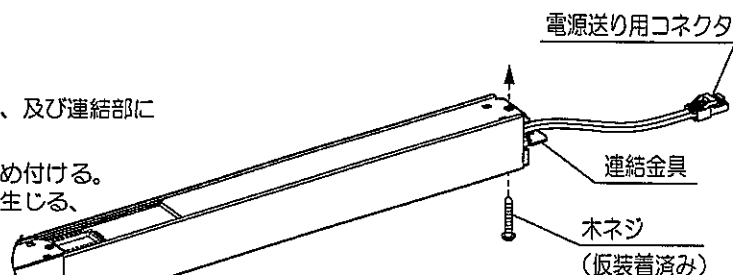
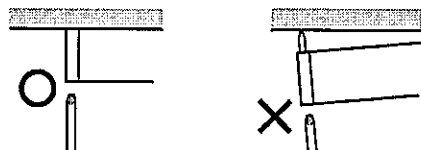
5 電源送り用コネクタを取り出し、本体に連結金具を取り付ける

☞5ページ「器具を連結して取り付ける」手順 1 2 参照

6 本体に電源受け用コネクタを取り付け、連結金具に本体を差し込む

① 裏板（裏板A）を端子台が見えるまで、スライドさせる。
② 付属の電源受け用コネクタを端子台に接続し、付属のナベ小ネジで本体に取り付ける。
③ 電源送り用コネクタと電源受け用コネクタを接続する。
④ 裏板（裏板A）を本体に当たるまで、スライドさせる。
⑤ 電源送り用コネクタのコードを本体内に押し込みながら、連結金具に本体を差し込む。
⑥ 連結金具に木ネジを仮装着する。（木ネジの先端が出ない様にする。）

7 仮装着した木ネジ（1本）で
本体を取り付ける

仮締め状態にしておく。

●取付面が平面でない場合、器具と取付面の間、及び連結部にすき間が発生するおそれがあります。

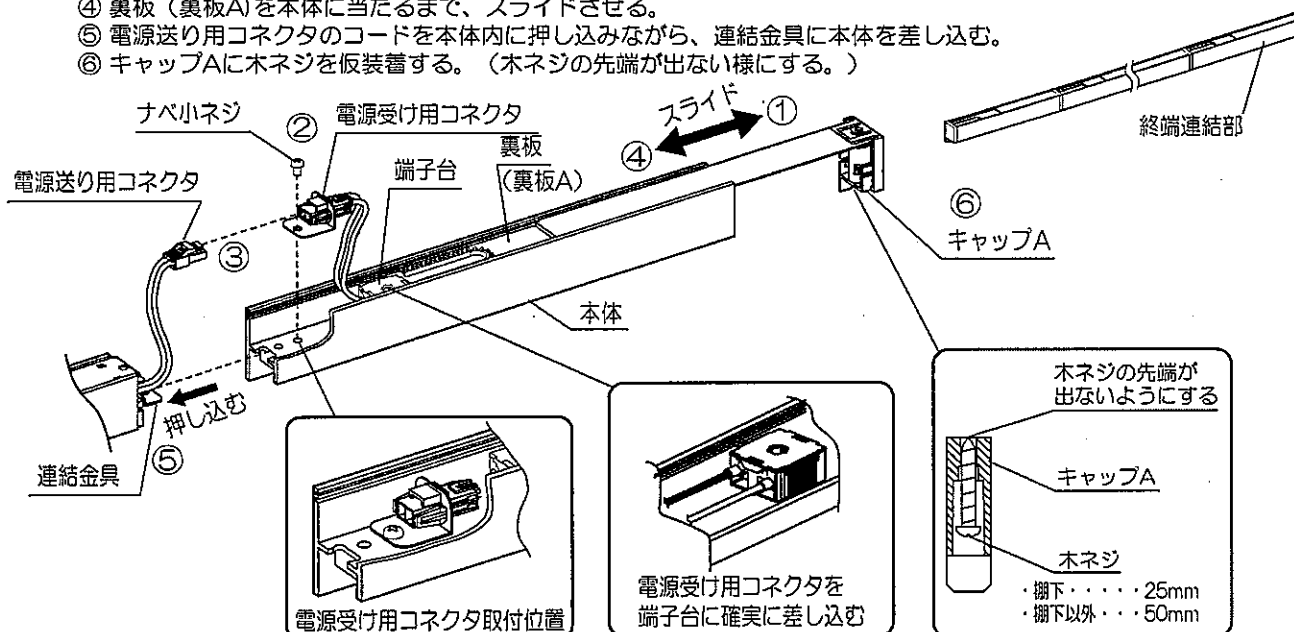
●本体を取付面に押し当てながら木ネジを締め付ける。押し当てないと本体とキャップにすき間が生じる、又は、キャップ破損の原因となります。

次の器具が終端連結器具の場合☞ 7ページ「終端連結部の接続」8 へ進む
次の器具が中間連結器具の場合☞ 6ページ「中間連結部の接続」5 へ進む

終端連結部の接続

8 本体に電源受け用コネクタを取り付け、連結金具に本体を差し込む

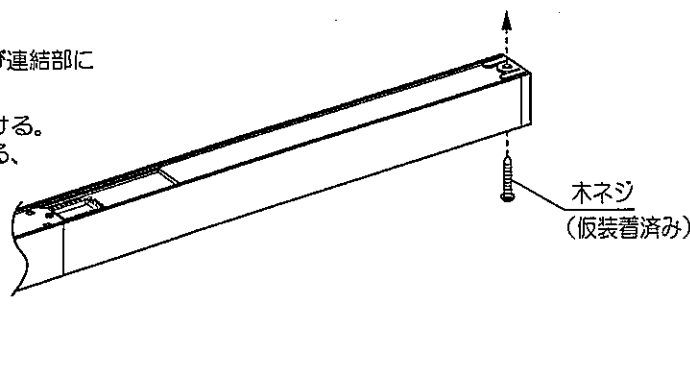
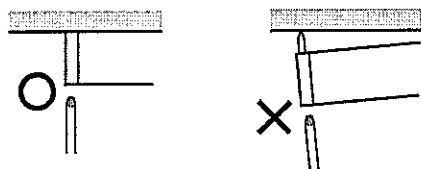
① （LGB50100の場合）裏板とキャップAを端子台が見えるまで、スライドさせる。
（LGB50101の場合）裏板Aを端子台が見えるまで、スライドさせる。
② 付属の電源受け用コネクタを端子台に接続し、付属のナベ小ネジで本体に取り付ける。
③ 電源送り用コネクタと電源受け用コネクタを接続する。
④ 裏板（裏板A)を本体に当たるまで、スライドさせる。
⑤ 電源送り用コネクタのコードを本体内に押し込みながら、連結金具に本体を差し込む。
⑥ キャップAに木ネジを仮装着する。（木ネジの先端が出ない様にする。）

電源受け用コネクタ取付位置

電源受け用コネクタを
端子台に確実に差し込む

9 仮装着した木ネジ（1本）で
本体を取り付ける

仮締めの箇所も本締めする。

●取付面が平面でない場合、器具と取付面の間、及び連結部にすき間が発生するおそれがあります。

●本体を取付面に押し当てながら木ネジを締め付ける。押し当てないと本体とキャップにすき間が生じる、又は、キャップ破損の原因となります。

使用上のご注意

●ＬＥＤにはバラツキがあるため、同一品番商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●ＬＥＤが点灯しない場合は、電源を切り、販売店または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
●ＬＥＤは、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1度程度）に清掃してください。
汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。
●アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損のおそがあります。

仕様

品番	使用電圧	周波数	消費電力
LGB50100LE1	AC100V	50/60Hz共用	4.7W
LGB50101LE1			14.1W

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…
●修理は、「修理ご相談センター」へ！
●その他は、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書について

保証期間はお買い上げの日より1年間です。
（ランプ等の消耗品は除きます。）
保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

■補修用性能部品の保有期間 6年

この照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
注）補修用性能部品とは、機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

●**保証期間中は、**お買い上げの販売店まで、製品名、品番、お引き渡し日、故障の状況（できるだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。保証の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
●**保証期間を過ぎているときは、**修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

●**修理料金は次の内容で構成されています。**
技術代　診断・修理・調整・点検などの費用です。
部品代　修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料　ご依頼により技術者を派遣する費用です。

パナソニック電工株式会社　インテリア照明事業部
〒571-8686　大阪府門真市門真1048

LGB50100-T3A1

N0409-010410